

2025 年度
能力強化研修

アフリカ稲作振興のための共同体
(CARD)
—CARD の動向と稲作協力のこれから—

日程:2026 年 1 月 14 日(水)~1 月 16 日(金)

募集要項



独立行政法人 国際協力機構
人事部 開発協力人材室

※本研修は対面で実施予定です

はじめに

アフリカ稲作振興のための共同体(Coalition for African Rice Development: CARD)は、サブサハラ・アフリカでのコメの生産量倍増を目指して、2008 年の TICAD IV で JICA とアフリカ緑の革命のための同盟(AGRA)が共同で立ち上げた国際イニシアティブです。1990 年代以降、アフリカでは急速な人口増加と都市化が進み、2007～2008 年の世界食料危機では穀物価格が高騰し、食料増産が急務となりました。アフリカでは調理や保存のしやすさからコメの消費が増加し、生産が需要に追いつかない状況が続きました。このような背景から、アフリカでのコメ生産の重要性が高まり、CARD が発足しました。

JICA は CARD の運営機関の一つとして、AGRA を含む国際機関と連携し、アフリカ各国の国家稲作振興戦略(NRDS:National Rice Development Strategy)策定とコメ生産支援を行い、2008～2018 年の CARD フェーズ 1 では 1400 万トンから 2800 万トンへ、コメ生産量倍増を達成しました。しかし、アフリカの人口増加とコメ需要の拡大を受け、2019 年に TICAD7 で「2030 年までにさらなるコメ生産量の倍増」を目指す CARD フェーズ 2 が発足しました。フェーズ 2 では対象国をフェーズ1の 23 カ国から 32 カ国に拡大し、RICE アプローチ(Resilience, Industrialization, Competitiveness, Empowerment)を実践することによってコメ生産の更なる倍増(2800 万トンから 5600 万トンへ)を図っています。また、フェーズ2では地域稲作開発戦略(RRDS:Regional Rice Development Strategy)も策定が推進され、地域ごとの共通課題に取り組んでいます。

JICA が CARD 推進を支援するためには、より多くの国際協力人材に CARD と稲作協力の動向を理解して頂くと共に、プロジェクトの枠を超えた CARD 関連の知見の共有や稲作振興に関する意見交換の場が不可欠と考えます。そのため、アフリカ稲作振興のための共同体(CARD)に関連する広い分野において一定の実務経験を有する方を対象に、CARD の全体像や近年の潮流・方向性などの知見を得ていただくことを目的として、本研修を実施します。

皆様のご応募をお待ちしております。

1. 研修コース名、研修期間、募集人数

- (1) 研修コース名: アフリカ稲作振興のための共同体(CARD)―CARD の動向と稲作協力のこれから―
- (2) 期間: 2026 年 1 月 14 日(水)～1 月 16 日(金)^{※3 日間} 対面
- (3) 募集人数: 最大 25 名程度
(一般公募による参加者とは別に、JICA 内部からも正規受講者を募集する予定)

2. 応募要件

下記の全ての要件を満たす方とします。

- (1) 専門家・調査団員等として JICA 事業に携わる意志があること
- (2) 研修の全日程に対面参加可能であること。
- (3) 専門能力・経験: アフリカ稲作振興のための共同体(CARD)に関連する分野(栽培、農業土木、農業機械、農業普及、コミュニティ開発、農業経済、金融、援助協調、マーケティングなど)において、計3年以上の実務経験(JICA 海外協力隊員等を含む)あるいは関連分野の就学経験(大学院以上)を有する方が望ましい。
なお、本研修は比較的実務経験が浅い国際協力人材を主な研修対象としています。
応募者が多数の場合は、実務経験の長さに関わらず、提出頂く自己申告書等の内容を踏まえて総合的に選考させて頂く予定です。
- (4) 語学力: 原則として、以下のいずれかの語学力を有すること。(詳細は JICA 専門家語学ガイドライン参照)
 - ① TOEIC730 点以上、TOEFL550 点(CBT213 点/iBT79 点)以上、英検準 1 級、国連英検 B 級、IELTS 6.0 以上
 - ② 仏検 2 級以上、DELTA 第 1 段階(DELTA B1)、仏語能力検定試験(TEF)361 点以上、仏文部省認定仏語能力テスト(TCF)300 点以上
 - ③ 西検 3 級以上、DELE B1、SIELE B1
 - ④ アラビア語或いはポルトガル語において業務遂行が可能なこと。

※ 保持している語学力に係る公的資格を、履歴書に必ず記載してください(取得年月が新しいものを優先する。取得年月も記載すること)。

※ ①は、JICA 専門家語学ガイドライン A レベル(高いコミュニケーション能力が求められる案件)基準。

※ ②・③は、JICA 専門家語学ガイドライン B レベル(業務上十分なコミュニケーション能力が求められる案件)。

3. 研修会場

本研修は、JICA 市ヶ谷ビルでの対面型式による研修を予定しています。

- 会場住所：
国際協力機構市ヶ谷ビル(JICA 市ヶ谷ビル)
〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町 10-5
※ JICA 本部(麹町)(千代田区二番町／最寄駅「麹町」)ではありません。

4. 研修概要

(1) 目的

- ① CARD の全体像や近年の潮流・方向性の理解促進
- ② JICA と研修参加者の交流を通じた関係者間の知見の共有とネットワークの活性化
- ③ 今後 JICA 事業に関連する実務に応用するための能力強化

(2) 日程(暫定)

1 月 14 日(水) (1 日目)	開講挨拶
	自己紹介
	講義: CARD の概要
	講義: CARD 事務局の役割
	講義: JICA の稲作技術支援について (坪井達史元 JICA 専門家)
	講義: CARD 研究
	講義: 農業機械、DX、民間連携
1 月 15 日(木) (2 日目)	講義: アフリカにおける稲作栽培
	講義: 優良種子・種子生産システム
	講義: 稲作バリューチェーン・マーケティング
	講義: 稲作における気候変動適応・対策
	講義: CARD と新しい取組(SHEP など)
	演習: テーマ説明 ～SSA における稲作発展段階別のアプローチ～
	演習: グループごとの自己紹介、グループ演習
1 月 16 日(金) (3 日目)	演習: グループ演習
	演習: 各チームの発表
	演習: チーム発表へのコメント

	講義：プロジェクトの事例紹介
	全体総括
	閉会

- ※ 全日程 9:30～17:30 の実施予定です。
- ※ 本日程は、暫定版のため変更の可能性があります。
- ※ 研修では PC を使用しますのでご持参をおねがいします。

(3) 事前学習／参考文献 ※選考結果発表後、受講が確定した方が対象です。

【事前課題】

事前課題として、研修までに参考資料をご一読いただきます。対象資料は選考結果通知後にご連絡いたします。

【参考情報】

- ・JICA ホームページ:アフリカ稲作振興のための共同体(CARD)
<https://www.jica.go.jp/activities/issues/agricul/approach/card.html>
- ・CARD 事務局 ホームページ(英語表記)
<https://riceforafrica.net/>

5. 応募方法

以下の(2)に記載されている提出書類を揃え、締切日までに JICA が運営している国際キャリア総合情報サイト「PARTNER」(以下、「PARTNER」という。)から応募してください。**「PARTNER」の登録が完了していることが必要です。「PARTNER」の登録だけでは、研修コースへの応募は成立しません。「PARTNER」への登録後に本研修コースへ応募してください。**

応募書類の受付後、応募時に「PARTNER」で指定した本人連絡用 E メールアドレスに対し、受領通知メールと共に応募案件番号(受付番号)を通知します。応募後、通知が届かない場合は、「人材登録に関するお問い合わせ先」までご連絡ください。

(1) 「PARTNER」への登録

応募はすべて「PARTNER」経由で行います。応募にあたっては「PARTNER」に人材登録がなされていることが必須ですので、登録されていない方はまず「PARTNER」での人材登録を行ってください。

「PARTNER」(人材登録)の URL

<https://partner.jica.go.jp/Account/HRAboutRegist>

【PARTNER 登録の注意事項】

応募時には PARTNER マイページの「登録内容の確認／更新」にて、所属先などの情報を最新に更新してください。

また、更新の際には、「プロフィール公開」欄は「希望する」を選択し、「プロフィール公開対象」には必ず「JICA」を選択してください。

(2) 応募書類

すべて所定の様式をご使用ください。所定の様式は、JICA ホームページ (<http://www.jica.go.jp/recruit/kyokakenshu/top.html>) からダウンロードしてください。①の履歴書についてのみ、PARTNER から書式をダウンロードして作成してください。

① 履歴書(研修用履歴書)

応募に必要な「**研修用履歴書**」を「PARTNER」上で作成して提出してください(履歴書への写真添付は不要です)。一般履歴書など他の様式の履歴書は受け付けません。履歴書は、「PARTNER」ログイン後、マイページのメニューから作成できます。ファイル名は「氏名_1 履歴書」として、**PDF 化**して提出してください。

② 自己申告書

必ず所定の様式を使用して提出してください。なお、合理的な配慮が必要な方は自己申告書の該当項目(第 6 項目)に必ず記載をお願いいたします。ファイル名は「氏名_2 自己申告書」として、**PDF 化**して提出してください。

③ 推薦書

所属先のある方は必ず所属先の研修参加の了承を得てください。なお、推薦書は書式不問です。自営の方や所属先のない方、所属先にて応募者ご本人が代表を勤めている方など、推薦書が用意できない場合は、その理由を記載してご提出ください。ファイル名は「氏名_3 推薦書」として、**PDF 化**して提出してください。

(3) 応募

応募期間内に「PARTNER」の応募画面から応募してください(予め応募書類をご準備ください)。

- ① 以下の URL から「PARTNER」にアクセスし、画面右上の“ログイン” をクリックして「PARTNER」にログインします。

「PARTNER」の URL <https://partner.jica.go.jp/>

- ②「研修セミナー情報」画面から該当のセミナー情報を検索し、「WEB から応募する」をクリックしてください。
- ③ 上記(2)の応募書類を添付して [PDF 化して提出してください。](#)

【PARTNER 人材登録に関する問い合わせ先】
独立行政法人国際協力機構 PARTNER 事務局
こちらのお問い合わせフォームより
<https://partner.jica.go.jp/Inquiry/Input>

6. 応募締め切り

締切日: **2025 年 11 月 13 日(木)**

7. 選考結果の発表

応募書類を審査の上、**2025 年 12 月 12 日(金)**を目途に、「PARTNER」のマイページ上で合格者の応募案件番号(受付番号)を発表します。「PARTNER」にログインし、マイページの「PARTNER からのお知らせ」をご確認ください。**書面による通知、JICA ホームページ上では発表しません。**

ご自身の応募案件番号(受付番号)は受領通知メール、又はマイページ「メールボックス」の「受信 BOX」で「【PARTNER】研修・セミナーへの応募送信完了のお知らせ」を参照ください。

なお、選考結果に関する個別のお問い合わせには一切お答え出来ませんので、あらかじめご了承ください。

「PARTNER」の URL <https://partner.jica.go.jp/>

8. 修了証の発給

全日程を修了された受講者へ、研修修了証書をお渡しします。

9. 参加費

無料

10. 留意事項

- (1) 研修期間中の盗難、紛失、事故等については、JICA は一切責任を負いません。予めご了承ください。
- (2) 研修実施に影響を及ぼすため、合格後の辞退は出来るだけご遠慮ください。
- (3) 円滑な研修運営に支障を来す恐れがあり、受講者本人や他の受講者の不利益になると JICA が判断した場合は、その後の研修参加をお断りする場合があります。
- (4) 研修修了一定期間の後、研修後の国際協力事業へのかかわり等に関するフォローアップ調査をアンケート形式で実施しますので、回答にご協力願います。
- (5) 受講のために必要な経費は自己負担となります。(宿泊先の紹介および斡旋は行っていないところ、あらかじめご了承ください。)
- (6) 本研修では、ノートパソコンをご持参いただくようお願いいたします。また、安定したインターネット環境(Wi-Fi 等)は受講者でご準備ください。※Wi-Fi はご準備しておりますが、接続が難しい場合などございますのでご注意ください。
- (7) 所属先推薦書を含む応募書類に虚偽の記載が判明した場合、選考合格を取り消すとともに、修了証の発行は致しません。

以上

様式 1 自己申告書

様式 2 推薦書(書式不問)

—ご提出頂く応募書類の取り扱いについて—

提出書類は、選考の結果にかかわらず返却しませんので、あらかじめご了承ください。

【個人情報の利用目的】

当機構が収集した応募者の個人情報は、以下の目的で利用させていただきます。当機構は、ご本人の同意を得ないで、この利用目的の達成に必要な範囲を超えて応募者の個人情報を利用いたしません。

1. 当機構が能力強化研修の受講者の選考を行うため
2. 当機構の研修実施にかかわる、各種情報(セミナー・イベントやホームページの案内等)や、人材募集情報の提供や連絡等を行うため
3. 応募者についての統計、データ分析を行うため
4. 研修の修了後、研修修了者へ能力強化研修の成果の活用状況について照会し、この結果を統計データとしてまとめ、将来的な研修カリキュラム改善に活かすため

【個人情報の取扱いについて】

当機構は収集した個人情報を当機構の責任のもとで適切に管理し、研修の受講に至らなかった場合は、当機構の責任のもとで適切に廃棄致します。この場合、書類の返却は致しておりませんのでご了承ください。

【募集・選考に関する問い合わせ先】

独立行政法人 国際協力機構 人事部開発協力人材室(研修管理室)
〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町 10-5 JICA 市ヶ谷ビル
E-mail: hrgtc@jica.go.jp

【応募時のシステムに関する問い合わせ先】

独立行政法人国際協力機構 PARTNER 事務局
こちらのお問い合わせフォームより <https://partner.jica.go.jp/>